

## 5領域に沿った療育プログラム



## 健康・生活

### ○子どもの心身の健康の維持・増進

小さな変化などを見逃さないよう見守り、健康状態を把握、靴をそろえる、荷物を棚に片付ける、手を洗う、排泄をする、楽しんで遊ぶなど、基本的な生活スキルの向上を目指す。

- ・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
- ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使って具体的に表示）・SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練
- ・衣服の着脱（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む）
- ・衣服の着脱（服を頭上に掲げる程度の行動を促す）・身だしなみや整え方

## 運動・感覚

### ○運動を通して心身を成長

運動機能、筋力の向上のために身体を動かす。正しい姿勢を保つ力を身につける。子どもが持つ感覚を理解しきちんと使えるように。スモールステップで一つひとつ繰り返し行い、身につける事で達成感や意欲を育てていく。

- ・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動
- ・つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動
- ・バランスボールでの姿勢保持・指先トレーニング・ビジョントレーニング・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動

## 人間関係・社会性

○自分以外の人と関わる事で、どのように関わり、それによる自分の感情の変化等を理解し、コントロールする方法を学ぶ  
集団に参加する方法やルールやマナーを理解することで、周囲の人との信頼関係の作り方や、感情のコントロール方法を学び、集団活動に参加できるように支援する。

- ・アタッチメント形成（個別面談で自尊心を高める・認める）・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会の設定・見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ・役割分担のある遊びなどの協同遊び・ルールの理解が必要な遊びや集団活動・地域施設などへの社会見学・イベントなどを通じた地域との交流

## 言語・コミュニケーション

○言語やジェスチャー等、様々な方法を用いて子どもが必要なコミュニケーション能力を身につけられるよう支援  
職員やほかの児童と話す機会により、言葉を学んだり、自分の気持ちを言葉にする練習をする。

話す事以外にも、文字、記号、ジェスチャー、絵カード、手話など様々なコミュニケーション手段を使う事で、相手の言葉を理解し、自分の意思を伝えられるよう支援する。

- ・文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用・はじまりの会で今日の気分
- ・気持ちをプレゼンテーションして言語表、受容・活動の振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出、受容
- ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き・自己紹介、他己紹介・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化
- ・PECSなどコミュニケーションのスキル向上訓練・手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション

## 人間関係・社会性

○自分以外の人と関わる事で、どのように関わり、それによる自分の感情の変化等を理解し、コントロールする方法を学ぶ  
集団に参加する方法やルールやマナーを理解することで、周囲の人との信頼関係の作り方や、感情のコントロール方法を学び、集団活動に参加できるように支援する。

- ・アタッチメント形成（個別面談で自尊心を高める・認める）・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会の設定・見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ・役割分担のある遊びなどの協同遊び・ルールの理解が必要な遊びや集団活動・地域施設などへの社会見学・イベントなどを通じた地域との交流